新聞の鍛

六　條生

（七）

我國の新聞が、獨立した『見出し』を持つやうになつたに歴史は極めて淺く、明治五十二年前後であつたと思ふ。二十年前後であつたと思ふ。見出しと云つても今日の如き物ではない、どんな記事の末尾から大正へかけて事のでも一段一行に定つてゐたもので、それでも以上の、◎印や△印を記事或は小ミダシ）肩見出しの冒頭に乗つ付けて、目じるしにした方法や『公開』『新聞』『公論』などと棚々論用罫線の使用とか、一々別々にわけて、無理に既に記事を區別したのとは技術的にまだしも感じが良く、親み良かつた

この一段一行主義の見出しはかなり長期間にわたつて使用されたが、社會成長の現性や、個々人の生活の理

犯行、關係、事件の發展等に伴つて、つひに必然一段一行の如き限られたそれでは間に合はなくなり、同じ新聞で云へば九も單的に内容の要約であり、一段でもやがて必要に應じ容を表示してゐる『目次』て二行、三行と增ね、それが今度は遂に所謂『何段ぬき』と云ふ見出しとなり、その極端なのになると上段から、ほとんど最下段にまでよん抜いたのもあつた。從つて行數も隨時に多くなつて行つたわけで、慣れれば仲々面白い話である

この影響は、アメリカの諸新聞から最も多くうけた記憶されるが、筆者の記憶である

（八）

見出しは何故「新聞の顔」と云はれるかと云へば、その記事内容の要約であり、云へば九も單的に内容を表示してゐる『目次』であるからである。即ち人間の五体に於ける顔へ同じく一番目立つところなるが故に

（九）

見出しは本質的に云つて以上述べた如く九も重要且つ正直なる内容に依つて十分に保證さるべきタイトルであるが、しかし乍ら、外出する時の婦人の顔同様、この新聞の顔も又、或る程度までのお化粧が必要なのである（言葉を換へて云へば、お化粧とは技巧と誇張である）

月夜の庭

辰巳　和子

月夜の庭の仄明り
何かあるよな　白いよな
支那下駄はいて來て見れば
白く浮いてる　垣のばら

金木犀の下枝に
何かあるよな　光るよな
雲間使つた花鋏
小枝にかけし忘れてた
お花鋏の双の光り

喜雨

珠雲　小野務平

旱餘條忽擧雲流
白雨紛飛灑陸續
天澤沛然蘇萬物
千郎今日始銷憂

三八三日會（八月三日長生庵にて）

佐分利　晃

（中）

草露に濕む蚤や蚊強し
庵の油滑しく流るゝ盞の火
蚤とよや水を離れて草の上

死と天國

松山　勇

一

戰爭と言ふとすぐ死と云ふことを考へさせられる。戰爭に行くものは生きて還れることは思はず異國のために死を覺悟して行く、そこに日本兵士の强いところがある

この死がすべての終りであるか、それとも死んでもなほ生き續けるものか、これは永遠の疑問である。穴から穴迄が人間の生命とするとあまりに短い。あまりにのたれ死である。それで生甲斐』の法則の前には如何な生きるものでも服しなければならない。草木ならない。この自然の法則の前には貧にもろいものであなく宗教の世界である、こに於て宗教の存在理由がある

この生きんとする力の偉大さは驚くより外はない、淨土に行つて生れると云ひ、あるものは極樂淨土に行つて生れると信じあるものはこの世界にまた生れ變つて來ると信じる

○

ここは自然科學の世界でなく宗教の世界である、こを捉へて將花狼籍へ及ぼうとする處へ、女の悲鳴を聞つけて宙を飛ぶように駈けて參りました男は、年の頃三十五六、足袴をも穿かず、それとも死んでもなほ生き續けるものか、これは永遠の疑問である。穴から穴迄が人間の生命とするとあまりに短い。あまりに

戰爭と言ふとすぐ死と云ふことを考へさせられる。戰爭に行くものは生きて還れることは思はず異國のために死を覺悟して行く、そこに日本兵士の强いところがある

この死がすべての終りであるか、それとも死んでもなほ生き續けるものか、これは永遠の疑問である。穴から穴迄が人間の生命とするとあまりに短い。あまりに

のたれ死である。それで生甲斐』の法則の前には如何な生きるものでも服しなければならない。草木ならない。この自然の法則の前には貧にもろいものであなく宗教の世界である、こに於て宗教の存在理由がある

この生きんとする力の偉大さは驚くより外はない、淨土に行つて生れると云ひ、あるものは極樂淨土に行つて生れると信じあるものはこの世界にまた生れ變つて來ると信じる

○

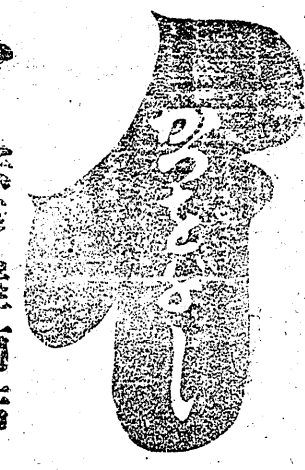
ここは自然科學の世界でなく宗教の世界である、こを捉へて將花狼籍へ及ぼうとする處へ、女の悲鳴を聞つけて宙を飛ぶように駈けて參りました男は、年の頃三十五六、足袴をも穿かず、それとも死んでもなほ生き續けるものか、これは永遠の疑問である。穴から穴迄が人間の生命とするとあまりに短い。あまりに

○『とくゝ邪魔をしやアがつたな、覺へてゐろ』

と叫びながら、ドン〳〵と逃げて了つた

おこよに憑うに起上つたが、總きの飾り額の色も青くなつてゐる、かの男はおこよに近づき、

『姐さん危ない所でつた

御贔屓日劇には
エンペン


妖刀流轉

邑井　良吉演

（172）

佐々木今朝吉畫

おこよ遭難（一）

その中に二月三月四月五月時が經ち、この時分が最も長家の忙しい頃だおこよも泥だらけの服裝を致し、晩くなる迄田の中で働いて居りましたが、仕事の都合で只だ一人後へ殘り、遲くなつてから鍬を肩いで庄左右衛門方へ歸らうと、淋しい田圃道を急ぎ足に辿つて參りました森林の傍……

一町ばかりの間が誠に暗い厭な場所だ、若い女ではあり、此頃は最う大分氣味がよくないから、一層足を早めて此處を通り抜けようとすると、慥てから森林の中に待ち伏せて居たものと見へまして、手拭で頬被りをした大の男が五六人ばかり大てい見當はついて居ますおこよは必死になつて逃げ

するばかり

『アレー、何をなさいまし、勘忍して下さいまし、アレー、アレー――』

とおこよが悲鳴をあげるのをエゝ面倒だと多勢で、かゝおこよを昇ぎ込まうとしたのは、その目的が何であつたか大てい見當はついて居ますおこよは必死になつて逃げ

講談

夜間診療

産科　婦人科　花柳病科
醫學博士　五十嵐雄一
往診隨時　平市新川町「電話三六九番」

病室增築、手術室完備

内科　胃腸病科　皮膚科
專門　高橋病院
花柳病科　性病科
（見習看護婦募集）
救急醫院
（平市南町電一〇七番）

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵機械　KS　井尻七三郎商店
福島縣平市鍛治町十一
電話五二二番
御買上品精々御安く納品致します
御掃下品は精々御高値に買受ます

産科　婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

互融會事業近況

電話五五五番お忘れなく

事業報告昭和十二年七月中
融通口數　一三四口
融通金額　七、三二一、〇〇
一三四口
滿期拂戻金額　一〇五〇、〇〇
滿期拂戻金額概況昭和十二年七月末現在
會員數　七、八〇〇口
會員世帶數　五、一二四、〇〇戸
積立金額　九七、四九二、三七
融通金額　三九、四四一、〇七
回收金額　四九、六九三、四三
滿期拂戻口數　一三一口
滿期拂戻金額　一〇、九五四、〇〇

太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會
事務所　福島縣中市桜槌小路一番地
電話五五五番
小名濱方部　湯本方部
小名濱町古港　湯本町寒町
菊田方部　相双支部
菊田町泰町　原町東一番町

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
會員ノ吉凶慶弔
會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救護ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通

外科一般　内臟外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
「血液檢査毎日」
醫學博士　北川芳夫
イツデモ入院デキマス。
技師　小林良次

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、機械架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
（見習看護婦募集）
平市田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
三七年型フオード
入車いたしました。
是非！御試乘の程ゞ！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

各眼科處方調製
玉屋眼鏡店
平市二丁目
眼鏡專門の店
自覺視力試驗
の設備もあります。
御自由に御話し下さい。

孤島大吉
東京上野驛前
下谷郵便局横通角
電話下谷六七七番
私は平市出身ですから特に鄕里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

夕刊
八月二十一日發行
定價（郵稅共）金五錢
廣告料　金五錢
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替口座一〇八五五番

天氣豫報

小名濱觀測所發表

今晩は南東の風晴
後曇
明日は東の風曇一時晴

△山縣大貳死す（明治四）△韓國併合條約成る（明治四三）△佛蘭樂家ドビュッシー生（一、八六二）
22日
8月
△諸葛孔明卒す（本朝紀元八九四）
23日
8月
△石橋山の戰（治承四）△官軍若松城を圍む（明治元）△我國歐洲大戰參加（大正三）

世界的に紹介さるる
多彩な石城の盆風景
國際觀光局で撮影

課長に榮轉の平局郵便王事業館正氏は二十四日頃赴任成泉一郎の兩氏が昇格小頭に伍長織田萬次郎、金

初秋の夜涼を描く

名物ヂャンガラ念佛及び盆踊りは石城に於ける夏季の行事として今や種々なる機會に於て弘く紹介され遂年其の人氣に驚嘆するに至つたが、鐵道省觀光局でも現代には一寸珍らしいこの盆光景を全國的より延いて世界に紹介する事となり地方に於ける同局最初の試みとして山本同局嘱託外一名の寫眞班は此程來平、ヂャンガラ念佛及び踊前橋町近に於ける踊りの實況等約十景をカメラに收めた外今廿一日は夕刻五時半から新出町美形連總出名の出勤を求め踊場に於ける踊り夜の踊りを撮影するが、尚は新盆の軒先を飾る庭園其他裝飾の趣向も他に類例無き珍奇な風俗として今年に於ける此の種の代表的と觀るべき市內西村藥局並に坂本紙店を撮影し更に之は全然別方面に關するが石城の産業を語るものとして昨日農閒の大敷地況を撮影した

雪崩れ込んだ群衆
乘降一萬人突破
昨年以上の驛統計

征戰と人波に染まる市を埋めた、市內の人出が著しく減昨廿五日夜の平驛乘降は乘四、二八五人　降五、九二三人　合計一〇、一九八八人で去年の當夜（八月三十一日）に比し乘降合計二百三十六名の增を示した。而も去年は人の出盛り前後に時折驟雨があつたので、鐵道驛であつた關係には異同が無いとは謂へ、市內の人出は遙かに昨年よりは多かつたわけである。因に本驛日當の乘降は定期及季休暇中の指導監督を併せ銃後運動に關する正木校村根小屋婦人會、百圓內郷の學生を除き最近の平均三千八百七十六名であるから千六百七十六名であるから去年の增を示した。而も千八百七十六名であるから去年は人の出盛り前後に時折驟雨があつたので、鐵道驛であつた關係には異同が無いとは謂へ、市內の人出は遙かに昨年よりは多かつたわけである。因に本驛日當の乘降は定期及季休暇中の指導監督を併せ銃後運動に關する正木校村根小屋婦人會、百圓內郷の學生を除き最近の平均三千八百七十六名であるから

七夕を新暦に
舊盆人氣を殺がれた感に
一部で調節策研究

併し松焚き華やかなりし道毎に何等かの進境を示す七路鋪裝前頃に較べると幾分夕を見る事の優れるに若かず人出が減つたらしく感せられるが、右は過ぐる七夕に遊をこれに繰り上ぐるもの人氣を先取りされた結果とで之の見地から兩行事の間隔を遠くする爲、七夕を新觀るべく、傳統の保持を望む一部から甚だ惜まれてゐる暦で行つては——と云ふ意見。卽ち市民は別として若干時間と費用とを投じて集題に就ては何れ之の方面の近郊の見物人は、僅か一熱心家によつて或種の調節週間の僅かな期間に置いて案が持ち出される日が來る再度の見物は何となく感動場合あるやしと觀られてゐがられ大体何年來の因襲を繰り返すのみで別段の新味が無い盆風景よりは寧ろ年

飛び出す非常時假裝
街々は踊りの氾濫だ
盆踊り第一夜　市內そゞろ歩る記

お盆の景物。踊りとヂャンガラは昨夜、ドツ！とたひらの街々に氾濫した。幸ひ天氣もよいので街は近在から押しかけた群衆で文字通りの人の海。幾重にも圓陣をつくつた踊り櫓の大太鼓は月の光に冴わり渡つて踊り子達はみんな元氣だ。果して軍國ものの假裝がだいぶ飛び出して——こゝにも非常時の現れである

驛前　列車から吐き出された人渦で九時前。もうあの賑い鋪裝！。東、北の二ヶ所に据えたスピーカーは幾重もの圓陣をよく統制して美事なマイゼル髯の憲兵等、々。十一時頃は出揃つた踊り子達で丁度假裝競技のやうな賑かさ

田町　踊りの輪は市役所の構內までふくれ行く驟き、地元青年團の主催だけに場所柄紅裾連の音頭で踊り子達の氣は勇むよ曉四時過ぎまで踊り拔いて！。更に南町の櫓へ——こゝには惜しいかな一寸道幅が狹いので踊りの輪は隋圓形となつて道路に氾濫する

鎌田　十二時からの盛り場である。櫓こそないが痴蝶の家、三軒からの太鼓にあはせて廊內には一時頃は出揃つた踊り子達で丁度假裝競技のやうな賑かさ

献金箱　市內一丁目岡部利金子(八)ちやんは小行く驟き、地元青年團の主催だけに場所柄紅裾連の音頭で踊り子達の氣は勇むよ曉四時過ぎまで踊り拔いて！。更に南町の櫓へ——こゝには惜しいかな一寸道幅が狹いので踊りの輪は隋圓形となつて道路に氾濫する

献金箱
——銃後運動——

新川町早坂せい子(一〇)さんの二人もその健氣な女性だ

然し赤十字救護看護婦採用は規定によつて制限されてゐるため右の志願は許されないが、彈丸雨下の第一線に立たんとする雄々しい女性の聲は少からず當局を感激せしめてゐる

吉田海軍大尉歸省
時局の花形として働く
發動機界の權威者

至つたもの

出廻五萬貫
秋繭出廻り豫想
四倉開場近づく

そろ〳〵秋蠶の出廻り季が近づいてゐるので來る二十五日から取引を開始する四倉市場は購繭資金の融通等に忙しい、蠶業取締平支所

磐中兩組三回戰へ
北日本庭球戰績

新師4——0(平)友部(商銘木)
(磐)柴崎
(中根本)4——1小椋商

過般平第一小學校で行はれた日立製作所海岸工場見習工の合格者は二十一日決定したが平驛業紹介所扱ひ分左の如く合計三十四名

赤井村松本光生　勿來町小松弘　植田町村田利幸　江名町片寄勇　好間村佐藤泰藏　遠藤辰雄　目黑孝　江井種　渡邊實　大越貞美（田村郡）吉成昇

同前田登　湯本町秋山五郎（双葉郡）磯部守　紺野守　遠藤虎雄　木田富士松　松本房　紺野武雄　本間勝喜　尾崎政男　草野金四郎（相馬郡）佐藤威夫　但野三郎　渡部長志賀三清　四家孝一

日立見習工合格者
平紹介所で卅四名

海軍工校を
首席で卒業
小名濱の松本君

小名濱町松の中出身松本新太郎君は此程海軍工機學校第六十二期普通科機關術練習生百九十名のうち首席を以て卒業した

同君は海軍二等機關兵で第七潜水艦乘組員、少年時代小名濱港外に雄姿を浮かす帝國軍艦をながめては『われも海の子、立派な海軍兵になつて海の護りに立ちたい』との希望か首尾よく達成し昭和十年六月横須賀海兵團に入つたのち、選ばれて海軍工機學校に入學今日に

校內に献金
女の銃後運動

縣立磐城高女生徒が過般列校內の適當な場所へ献金箱を備へ、生徒をして任意に銃後心を發露せしめ之を取纏めて當局に寄託する方針であると

従軍看護婦志願
——悲壯な決意で申込む——
當局たゞ感激

最近の調査による秋繭の出廻り豫想數量は左の如く合殘りの三回戰からの試合は計五萬貫、出廻最盛は今月今二十一日午前九時半から二十九日頃と見られてゐる按戰中である

四倉一三、〇〇〇貫　平二六、〇〇〇貫　植田六、〇〇〇貫　上遠野五、〇〇〇貫　計五〇、〇〇〇貫

好間
水利議員改選
好間堰水利組合議員の改選は二十七日平、好間の二ケ所で行はれるが定員は平が二名、好間八名計十名、投票時間は午前八時から午後四時迄

公會堂建設委員會　平市新興公會堂は既報の如くシンボル——堀江工業株式會社の手により目下基礎工事を進めて居るが、二十三日午後一時から此程改選された建設委員會を開き今後の建築其他に

痴漢捕はる
十六娘を襲ふ

湯本町三函熊倉平次郎長女のい(一七)何れも假名——は十九日夜十時頃同町成田山境內で痛漢に襲はれた、平署一枚加はらうとの意氣物凄く昨益の十五日を期して三好家から『小藤』が名乘りを上げた。年は二十五と云ふあゝらの乘り切つた小つ洒いところ

二十二日
（小名濱潤鉄野球場）
滿潮前三、四五　干潮前一〇、四〇
滿潮後四、五五　干潮後一〇、四五

二十三日
滿潮前四、三〇　干潮前一一、一〇
滿潮後五、三五　干潮夜一一、一〇

磐女の銃後運動
東北學院庭球部主催第十四回北日本中學校軟式庭球選手權大會は二十日午前八時から同學院中學部コートにおいて炎天の下に華々しく擧行された、地方關係チームの戰績次の如くである

第一回戰
(磐)石田
(中)佐藤　(棄)酒　商
(平)友部
(商)鈴木　4——1福岡中
(平)志賀
横手中　(棄)　(商)友部
岩手中　4——1(平)北島
(商)歌川
(磐)柴崎
(中)根本　4——1宮　工

第二回戰
(磐)磐城中
(中)關原　4——1仙　工

吉田眼科醫院

醫學士　吉田久雄

平市紺屋町　電話六八番

難波醫院

內科
小兒科
入院施設
自炊の便あり

醫學博士　難波睦

平市大町　電話五〇二番

（看護婦見習、看護婦募集）

平病院

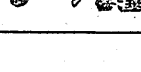
平市警察署側（元磐城共濟病院跡）
（電六四一番）

院主　醫學博士　鈴木定藏

內科　院長　鈴木定藏
小兒科　醫學博士　木下基二
產婦人科　醫學博士　池谷宗三郎
一般外科　醫學博士　鈴木定藏
皮膚尿泌器科　技師　岡田重德
レントゲン科　部長　吉本孝平
物理的療法科　藥劑師

◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）
往診適時
病室完備……入院隨時（自炊ノ便アリ）
入院料　一日　特等一弐圓　一等一圓五拾錢　二等一圓

吸入用酸素
純度99%
磐中醫學部前
開業
內藥局
電話四〇番



豆炭・コールタール販賣

一、品川豆炭
大袋五貫匁入　金七十五錢也
小袋壹貫匁入　金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入）金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。

電話三七番
平驛前
阿部石炭店

おてん
一平
イッペイ

電話二六三番

初夏の氣分と行屆いたルームをお出をお待ち致します。

珈琲とグリル
バツカス
御食事
電七〇二

女店員募集
全部給料制度
品位良き方を望む
經驗無き方も良し

廣告

新月曜　七月千午八月二十三日　赤口　朝　心宿

▲一白　希望にもゆる優勝の日努力して功績大なり▲二黑　初志の貫徹容易ならず周圍普請等見合が吉▲三碧　人に乘ぜられ不利の境遇に落込むことあり▲四綠　分限を守りて實直に事を謀るには支障なし▲五黃　散財多かるべき日萬事手ひかへするが安全第一▲六白　好勝の擬様に見ゆるも深入りするは凶▲七赤　窮外なる失敗を生じ收拾に困難なる凶運日▲八白　平穩無事を祈りて利慾に心を傾けぬが安全▲九紫　前途の一途あるのみ奮勵して希望を達成す

東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠館

▲一白　精神を凝集して一事に專念せば末吉となる▲二黑　小石に躓きつまづき易し些事といへども怠せにせぬが吉▲三碧　平運にして商業上の利益は殊に良好に向ふ▲四綠　なれ初に手を出す時は亂調子となるべし▲五黃　頑固一徹なれば融和を欠き目上に見放さる▲六白　歩調をそろへて前進すれば雜事も終に成就す▲七赤　貴直は身の資ヘなく珍重され出世の基なり▲八白　物事迅速を知りて退くを忘れ後悔を招く日▲九紫　一念をこらして努力すれば窓の如く望成る

七月　大安　日宿
十二日

新日曜　八月　辛巳　二十日　房宿
七月　大收　十七日